

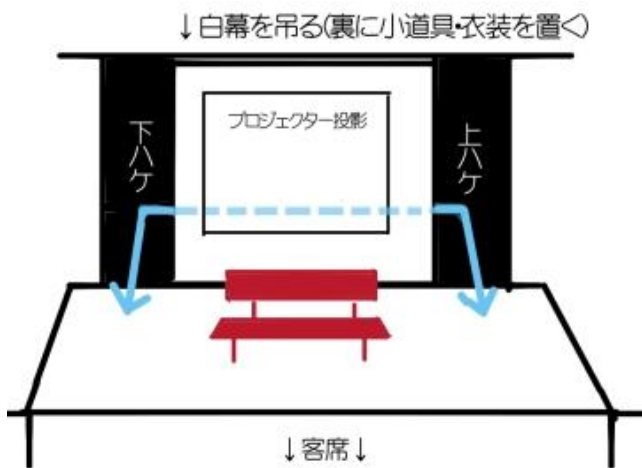
意味屋

小林早苗

[登場人物]

若者
男
银杏姫（声のみ）
银杏（声のみ）
友達
変な人

[舞台配置]



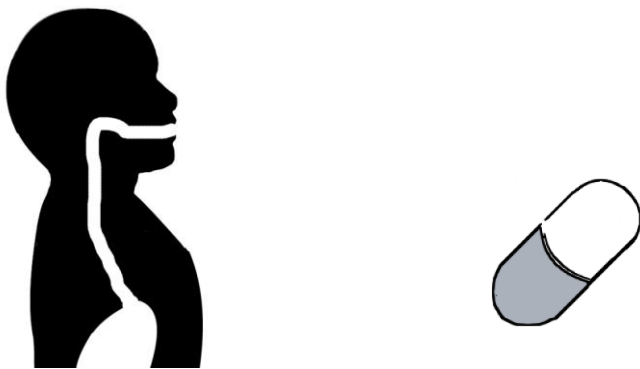
男 （サプリメントボトルを大きく掲げながら）そして、こちらが我が社の人気商品、「イミヅケール」でございます！



若者 （迷惑そうに）いやだから、俺は何も買わないって！
男 おや、お客様。先ほど「最近面白いことねーなー（むかつくモノマネで）」とおっしゃっていたじゃないですか。「イミヅケール」は、そんな無気力人間なあなたにピッタリの商品なんですよ！

若者 おい不躰だな！ ずいぶん！ いや俺は別に無気力ってわけじゃ…
男 同じような毎日。生きてて楽しくない。それはあなたが自分の人生に「意味」
を見いだせていないからなのです。
若者 意味…？
男 そう。あなたが出会うすべての物事に意味があるように感じれば、人生の見え
方がかわってきます。わが社はそこをサポートすべく数々の商品を開発してき
ました。もし意味がないのならば、作ればいい。
(ボトルからサプリメントを出す。すごいでかい錠剤)
どうぞお試しください。
若者 (考えこんでいて) 意味って…でかつ！
男 ささ、ぐいっと。(渡す)
若者 (持ってしまった) 飲むの！？ 無理だよ！ とても服用できる大きさじゃね
ーよ！
男 水なしでいけますから。ほらここにも(ボトルを見る)書いてませんが、いけ
ますから。
若者 おまえのさじ加減じゃねーか！ こんなの飲めるか！
男 いえいえ体に有害なものは何も入っていません。
ジャンルは健康食品ですから。
若者 そういう事じゃなくてさ…(独り言) 変なのに捕まっちゃったなー…。
あの、俺、早く帰りたいんで。これ飲んだらどっか行ってくださいよ。
男 ええ。もちろん一度試して気に入らなければそれ以上お勧めはしませんから。
若者 …(ため息をついたあと、観念して飲む) ぐっ！

(プロジェクターに薬のCMっぽい映像が映る)



若者 …割とスルッといった。で、どうしろって？
男 そうですね。じゃ試しに何かしてみてください。
若者 なにかつついても…あ、銀杏おちてる。(拾う仕草)

(パーッと舞台上が明るく輝き、神秘的なBGMが流れる)

「ひろってくれー」「ひろってくれー」「茶碗蒸しにしてくれ…」「ひろってくれー」

(怖い声で次々と聞こえる)

若者 なんか変な声が聞こえる！
男 落ちている銀杏の叫びですよ。(地面を指さし)
若者 こわ！

(プロジェクター 萌えイラストで銀杏姫「※画面はイメージです」の文)



銀杏姫 わらわは銀杏王国の姫。悪い魔法使いに魔法をかけられて、銀杏になってしまったの。そこのお方、わらわを地中に埋めてどうか魔法をといてくださいまし。
若者 え、なにになに！？
銀杏姫 魔法を解いてくれたら、そなたの妻になってやってもよくてよ
男 ほらあなたの手の中のそれ、銀杏姫ですよ。
 誰だよ！ そんなプリンセス存じ上げねーよ！
 しかも銀杏王国出身だったら魔法解いても銀杏のままじゃねーか！
銀杏姫 バレたか…するどきおのこよ。

(プロジェクター 銀杏の写真「※画面は現実です」の文)

男 ホッホ、いやそれほどでも。
若者 なんでお前が照れてんだよ！

銀杏姫 冗談はさておき、どうか、私の他にも地面に落ちて苦しんでいる銀杏たちを救ってくださいますし。

若者 えー…しょうがねえな…

(若者、銀杏を拾う。拾うたびに、銀杏からの「ありがとう！」と感謝の声が飛ぶ)

若者 うん、まあ…なんかお礼を言われるのは悪くないかな。

男 ほら、あなたの銀杏拾いによって救われた銀杏たちがこんなに山盛りに。

銀杏 「あなたはまさに救世主です！」 「メシアです！」

若者 そんな大げさな… (と言いつつちょっとうれしい)

銀杏 「神様！」 「勇者！」

若者 いやいや…

男 ワーキングブア！

銀杏 「やさしさ王子！」 「クリーミー系男子！」

男 無気力症候群！

若者 お前は黙ってろよ！ (銀杏をぶつける)

(プロジェクター とびちる銀杏の写真、数秒で消す。)

男 いたい！ あと独特の銀杏臭がなぜかくせになる！

若者 やかましいわ！ お前何で現実に引き戻されるガッカリワード挟んでくんだよ！

男 申し訳ございません。癩にさわったもので。

若者 自分に正直だなお前は！

(そうこうしているうちに光が消える。)

若者 あ…声が聞こえなくなった。

男 効果が消えたようですね。試供品ですから持続時間も短いのです。いかがでしたか？

若者 まあお前の邪魔がウザかったけど、なんか自分がすごい役に立ってるっていう実感があったかな。

男 そう。どんな無意味な物事にもステキな意味を与えてしまう。それがこの「イミヅケール」。「イミヅケール」なのです。

若者 なぜ2回言った。

男 どうでしょう。お買い上げいただけませんか？

若者 うん、まあ。値段によっては…あー、でもちょっと毎回飲むの大変だからさ、飲まないタイプはないの？

男 もちろんありますよ！（鞆を探ってカードを数枚取り出す）こちらの商品はいかがでしょう。

若者 カード？

男 こちらの商品は「意味カード」というものでございます。先ほどの「イミヅケール」は何か行動をする時に作用しますが、これはあなたの人生自体に作用して意味を与えるものです。ま、百聞は一見にしかず。どうぞ使用してみてください。

若者 これを読めばいいのか？ えー、「わたしは、仕事をするために、生きています」？

（神秘的な効果音）

若者 うお！ なんだこれ！ すげー仕事してえ気分になってきた！

男 そうでしょう。あなたの人生に「仕事をする」という意味が生まれたのです。

若者 なんか、今すげーわかっちゃった！ 俺、今の仕事にすべて捧げるために生まれてきたんだよな！（興奮して）

男 ええ、ええ。

若者 今まで俺、正直あんまり生きてて楽しいこともないっていうか、仕事して寝て起きてまた仕事して、何のために生きてるのか、みたいに思ってたんだよ。（熱く語る）

男 それマジ思うーマジ思うわそれー。

若者 いきなりどうしたんだよ！（頭につっこむ）

男 すみません。そろそろお友達感覚でもいいかと思ひまして。

若者 だめだよ！ なんで急に距離縮めようとしたんだよ！

男 それはさておき、我が社の意味カード、気に入っていただけたようですね？

若者 あ、ああ。確かにこれはすごい。

男 こちら10枚セットで25000円でございますが。

若者 よし買った！（若者の携帯が鳴る）あ、会社からだ。すみません。ちょっと出てもいいですか。

男 どうぞ。

若者 あ、お疲れ様です！ はい、先日の件ですが…（キビキビと仕事の話をしなが
ら下にハケる）

男 …あの方は、30枚くらいですかねえ。（嫌な笑顔を浮かべる）

（暗転）

数か月後、飲み屋でいっぱいやっている若者。

居酒屋のザワザワしたBGMが流れる。

（若者暗転板付き）

若者 (ジョッキを飲み干す) あー！ 今日も酒がうめー！
男 こんばんは。あれからうまくやっているようですね。
若者 ああ、どうも。おかげ様で人生楽しいですよ。
男 楽しんでいらっしゃるようでなによりです。
若者 ホント、このカードがなかったら、俺の人生つまらなかつたろうなって。あの、カード売ってもらった日なんですけど、俺久しぶりに会った友達にすごい差つけられてるなって感じる事があって…かなり凹んでたんですよ。

(プロジェクターに「回想」の文字)

(友達、上から登場)

友達 よー！ 久しぶり！（紙袋を持っている）
若者 おう！ 同窓会以来だなー。つかおせーよ。なにしてたんだよ（冗談めかして）
友達 悪い悪い。ちょっと嫁から子供のオムツ頼まれちゃってさ。
若者 え？ お前子供いたっけ！？
友達 おい、年賀状に写真ついてただろー？ もう毎日大変だよ。30歳越えたら家買うのも考えてるし、節約節約でやんなるよ。ま、今日くらいはパッとやろうぜ。
若者 (自らを省みてやや茫然とする) あ、ああ…そうだな
男 お客様は恋人などはいらっしゃらないんですか？
若者 おい！普通に人の回想に入ってくんなよ！！
男 恋人。恋人。
若者 いねーよ！ いたらそもそも人生つまらない事なんか…なあ？（思わず友達に話しかける）
友達 …（居心地わるそうにしている）
若者 もうなんか…お前のせいで時空ゆがんだじゃねーか…こどこなんだよ…

(プロジェクターが「回想？」に変わる)

(上から頭に変なものをかぶった人が現れる 例えば、鳥かごとか)

若者 こいつどうする（友達を指さして）…誰！？（変な人を目撃して）

(変な人、友達の紙袋から何かマスクを取り出して友達にかぶせ、一緒に上へハケる)

(プロジェクター、「回想？」の文字消える)

若者 (見送りながら) …あれは、俺の友達じゃない…もっと別の…何かだ…
男 大丈夫。幻覚ですよ。
若者 大丈夫ではないそれ！全然大丈夫ではない！

男 ところで、お客様。カードは残り何枚お持ちですか？
若者 お前普通に戻るんだな…そこ尊敬するわ。えー…と。あ、一枚しかない。
男 ちょっと使うペースが早いですね。我が社の商品は、あくまで、お客様が人生の意味を見つけるきっかけを与えるだけのもの。人生に本当の意味を見出せるのは、お客様ご自身だけでございます。今後はカード無しでも、楽しく過ごせるようになっていただかないと。
若者 で、でもカードは男さんからまた買えば…
男 人気商品なので、在庫にも限りがありますからね。今お売りできるのは、あと20枚です。
若者 そうなんですか！？ あ、じゃあ今買っときます。（急いで財布からお金を出す）
男 （カードを渡して）いいですか？ くれぐれも、無駄遣いはしないでくださいね。（退場）
若者 …あ、はあ。（生返事。新しいカードを見つめる）

（暗転）

（ノリが良く楽しげなBGMが流れる）

若者 （高らかに宣言）「わたしは！ 地球の環境を！ 守るために！ 生きています！」

（神秘的な効果音）

若者 よっしゃ待ってる地球～！俺がすべてのゴミを拾いつくしてやるからなー！
（拾う仕草）
それに近所の分別しない主婦に「奥様ダメでしてよ？女子力低くてよ？」って注意してやるー！

（拍手喝采が聞こえる）

若者 ありがとう！ ありがとうみんなー！ あり…

（BGMが途切れ、照明も暗めになる）

若者 あ、もう切れたのか…（テンションが下がる）次のカード…あと、3枚か…。うう、さっきまであんなに楽しかったのに。だめだ、寂しい。耐えられない…
（カードを読む）「わたしは、運命の人と、出会うために、生きています！」

（先ほどのBGMが流れる、照明も明るくなる）

若者 よーし！ きたきたあー！（再びテンション最大に）

(暗転)

部屋でうめきながら転げまわっている若者。

若者 つらい…苦しい！　なんでこんなに何もない生活に、耐えられないんだ！

(男が訪ねてくる。ドアは開いているので勝手に入る男。)

男 それはそうですね。今まであったものがなくなると、なかった頃よりつらく感じてしまうのは当たり前です。こんにちは。そろそろなくなる頃だろうと思っていましたよ。

若者 ああ、いい所に！　カードを！　カードを売ってください！

男 残念ですが、もう在庫はないのですよ。

若者 そんな！　次はいつ入荷するんですか？

男 永遠にありません。

若者 え…？

男 お話していませんでしたが、意味カードは、あなたが生まれてから死ぬまでに見つける可能性のあった「生きる意味」をカードにしたものなんです。人が人生の中で探し出せる「意味」の数、あなたの場合は50枚ですが、これまでに使い切ってしまったので、新しくカードを作って差し上げることはできません。

若者 生きる意味がなくなったら…これからどうしたらいいんだよ！（泣き叫ぶ）
頼む！　何か、なんでもいいから、カードを売ってくれ！

男 仕方ないですね。では、本当にこれが最後ですよ。（封筒を取り出す）

若者 な、なんだ！　あるんじゃないかよ！　いくらだ？

男 お客様の自業自得とはいえ、我が社の商品を理由に、訴訟なんか起こされては困りますね。（呑気にひとりごちる）お代はでいいですよ。ただし、このカードは一度使ったら二度と取り消しは聞きませんので、ノークレームでお願いします。

若者 なんでもいい！　なんでもいいから、早く読ませてくれ！（封筒を取ろうと必死）

男 ま、実際はほとんどの方がこういう人生を送っていますからね。（若者の手をよけながら）

気を落とさずに頑張ってください（封筒を渡す）。では、良い人生を。（退場）

若者 （封筒を夢中であける）あった！　これでこの苦しさから解放される…！

（大きく息を吸い込んで大きな声でカードの文章を読む）

「わたしは、自分の生きる意味を、探すために、生きています！」

(神秘的な効果音と照明)

若者 え…って……

(照明もとにもどる)

若者 これじゃ、今までと全っ然変わらねーーーーー！！

(叫びながら崩れ落ちる)

暗転・完